

## ペットにもエコスタイル

和室の格子建具。主人の姿が見えるように障子紙は貼っていない。



リビングとダイニングを仕切る建具。無垢材と天然塗料仕上げ。  
ガラスは入っていないので人はまたいで出入りできる。

広い廊下のガード扉、裏にはストッパーがついている。



エコデザイナー  
西條 正幸

1960年伊達市生まれ。  
札幌を中心にナチュラルスタイルの  
店舗、住宅の空間デザイナーとして活動。  
自然素材にこだわった  
新築、リフォームの設計、施工会社  
「西條インテリアデザイン」代表取締役。  
エコスタイルショップ「素材自店」店主。

最近ペット共生マンションが建ち始めている。ペットが家族の一員として認知されて来た証拠なのだろう。少子、高齢化が進む中精神的ストレスが増加し自然とのふれあいを求める今の社会では子供の情操教育やコミュニケーション効果、癒し効果などを求めてさらにペットブームに拍車をかけることになるのだろう。

今住宅を新築中で新しい生活を始めようとする人の中にはペットと一緒に住みたいと思っている人が少なくないはずだ。新築住宅に住む人の3軒に1件はペットを飼っているというアンケート調査があるほどペットとの共生は現実的な問題だ。

### ペットとアレルギー

しかし客観的に見るとペットを家で飼うということとはアレルギーや病原菌を室内に持ちこむことになり、人にとっては必ずしも良いことばかりではない。

ペットからの毛、ふけ、唾液、血液、排泄物などがアレルギーとなるばかりか、ダニ、カビを増殖させる恐れがある。現代人の3人に1人は何らかのアレルギー疾患を持っているといわれる時代なのだ。たとえば猫アレルギーなどで近くにいるだけでもくしゃみ、鼻水に悩まされている人を見かけると、喘息で悩まされていた人がウサギを飼うのを止めると症状が改善された例もあるが、このような体質の人がペットを飼う場合はそれなりのリスクを覚悟しなければ

ならない。ペットを飼ってはいけないと言いうことではないが特に慎重になる必要があると思う。

私の場合は自然素材をいかした、過敏症やアレルギー体質の人の家を建てる機会が多いため、ペットは飼いたくても無理と始めからあきらめている家族が多い。

赤ちゃんや小さな子供達がいろいろなものに反応して症状を変えるアレルギーマーチ、さまざまな化学物質に反応し出すと止まらない化学物質過敏症のように、突然発症すると厄介な病気を次々に引き起こし、心身ともに疲労する。

住まいの空気質汚染で気をつけなければいけないものをあげてみると1.建材からの化学物質、2.家具からの化学物質、3.室内での喫煙、4.防虫剤(芳香剤)5.ペット

### ペットとシックハウス

そう硬いことを言ってもやっぱりペットはかわいい訳で、ペットのことを本気で考えるなら住まいの建材をしっかり考えなければならぬ。人にとってリスクのあるものはペットにとってはさらに辛いものだ。

オウム真理教事件の時に話題になった毒ガス感知のためのカナリアでもわかるように、人よりはるかに優れた感覚を持つ小動物たちは室内の有害物質の影響を真っ先に受けることになる。いつも人の身替わりになっていたのではたまったものではない。

建材から放出したホルムアルデヒドが溶け込んだ水槽で死亡した金魚やシックハウスで抜け毛になってしまった猫の話は有名だ。室内で暮らすペットたちにとって現在のシックハウス問題は人事ではない。ペットと共生するための住まいを考えているならば共に快適に暮らせるための素材選びが大切になる。

### ペットにこそ自然素材

ペットを飼うと家を傷付けたら臭いがしみ付くことは覚悟しなければならない。犬や猫など放し飼いの場合は人とペットとの動線を考えた設計が望まれることになるのだが内装の建材はどうだろう。

特に床や壁、柱などのキズや汚れの問題がある。傷がつきにくい合成材や掃除しやすい塩化ビニールのフロアーにしたいとしたいところだろう。しかし人が気持ち良い自然素材はペットにとっても快適な空間となるはずだ。

やわらかな無垢のフローリングや腰板を自然塗料で仕上げる。建具も思いきって無垢で作ろう。たしかにキズは付くかもしれないが多少のキズは味になるし部分的に取り替えたり、補修も出来ると思えば気も楽だ。珪藻土の塗り壁材や珪藻土タイルなどのように呼吸性があり臭いを吸着する素材を使うのも良いと思う。ペットとの共生のためにもエコスタイルな住まいが求められるはずだ。

## Ecology House

環境と健康を考えたエコロジー建築



### 資料請求番号

ハガキで資料を取り寄せられます。



自然素材で新築・リフォーム

エ / コ / ロ / ジ / ー / 建 / 築 / エ / 房

有限会社 一級建築士事務所

西條 インテリアデザイン

本社／札幌市北区百合が原4丁目8-1  
tel.011-774-8599 fax.011-774-8581

伊達支店／伊達市舟岡町50-28  
tel.0142-22-0138 fax.0142-22-0139

ホームページ <http://www.saijo-d.com>



## ペットにもエコスタイル

和室の格子建具。主人の姿が見えるように障子紙は貼っていない。



リビングとダイニングを仕切る建具。無垢材と天然塗料仕上げ。  
ガラスは入っていないので人はまたいで出入りできる。

広い廊下のガード扉、裏にはストッパーがついている。



エコデザイナー  
西條 正幸

1960年伊達市生まれ。  
札幌を中心にナチュラルスタイルの  
店舗、住宅の空間デザイナーとして活動。  
自然素材にこだわった  
新築、リフォームの設計、施工会社  
「西條インテリアデザイン」代表取締役。  
エコスタイルショップ「素材自店」店主。

最近ペット共生マンションが建ち始めている。ペットが家族の一員として認知されて来た証拠なのだろう。少子、高齢化が進む中精神的ストレスが増加し自然とのふれあいを求める今の社会では子供の情操教育やコミュニケーション効果、癒し効果などを求めてさらにペットブームに拍車をかけることになるのだろう。

今住宅を新築中で新しい生活を始めようとする人の中にはペットと一緒に住みたいと思っている人が少なくないはずだ。新築住宅に住む人の3軒に1件はペットを飼っているというアンケート調査があるほどペットとの共生は現実的な問題だ。

### ペットとアレルギー

しかし客観的に見るとペットを家で飼うということとはアレルギーや病原菌を室内に持ちこむことになり、人にとっては必ずしも良いことばかりではない。

ペットからの毛、ふけ、唾液、血液、排泄物などがアレルギーとなるばかりか、ダニ、カビを増殖させる恐れがある。現代人の3人に1人は何らかのアレルギー疾患を持っているといわれる時代なのだ。たとえば猫アレルギーなどで近くにいるだけでもくしゃみ、鼻水に悩まされている人を見かけると、喘息で悩まされていた人がウサギを飼うのを止めると症状が改善された例もあるが、このような体質の人がペットを飼う場合はそれなりのリスクを覚悟しなければ

ならない。ペットを飼ってはいけないと言いうことではないが特に慎重になる必要があると思う。

私の場合は自然素材をいかした、過敏症やアレルギー体質の人の家を建てる機会が多いため、ペットは飼いたくても無理と始めからあきらめている家族が多い。

赤ちゃんや小さな子供達がいろいろなものに反応して症状を変えるアレルギーマーチ、さまざまな化学物質に反応し出すと止まらない化学物質過敏症のように、突然発症すると厄介な病気を次々に引き起こし、心身ともに疲労する。

住まいの空気質汚染で気をつけなければいけないものをあげてみると1.建材からの化学物質、2.家具からの化学物質、3.室内での喫煙、4.防虫剤(芳香剤)5.ペット

### ペットとシックハウス

そう硬いことを言ってもやっぱりペットはかわいい訳で、ペットのことを本気で考えるなら住まいの建材をしっかり考えなければならぬ。人にとってリスクのあるものはペットにとってはさらに辛いものだ。

オウム真理教事件の時に話題になった毒ガス感知のためのカナリアでもわかるように、人よりはるかに優れた感覚を持つ小動物たちは室内の有害物質の影響を真っ先に受けることになる。いつも人の身替わりになっていたのではたまったものではない。

建材から放出したホルムアルデヒドが溶け込んだ水槽で死亡した金魚やシックハウスで抜け毛になってしまった猫の話は有名だ。室内で暮らすペットたちにとって現在のシックハウス問題は人事ではない。ペットと共生するための住まいを考えているならば共に快適に暮らせるための素材選びが大切になる。

### ペットにこそ自然素材

ペットを飼うと家を傷付けたら臭いがしみ付くことは覚悟しなければならない。犬や猫など放し飼いの場合は人とペットとの動線を考えた設計が望まれることになるのだが内装の建材はどうだろう。

特に床や壁、柱などのキズや汚れの問題がある。傷がつきにくい合成材や掃除しやすい塩化ビニールのフロアーにしたいとしたいところだろう。しかし人が気持ち良い自然素材はペットにとっても快適な空間となるはずだ。

やわらかな無垢のフローリングや腰板を自然塗料で仕上げる。建具も思いきって無垢で作ろう。たしかにキズは付くかもしれないが多少のキズは味になるし部分的に取り替えたり、補修も出来ると思えば気も楽だ。珪藻土の塗り壁材や珪藻土タイルなどのように呼吸性があり臭いを吸着する素材を使うのも良いと思う。ペットとの共生のためにもエコスタイルな住まいが求められるはずだ。

## Ecology House

環境と健康を考えたエコロジー建築



### 資料請求番号

ハガキで資料を取り寄せられます。



自然素材で新築・リフォーム

エ / コ / ロ / ジ / ー / 建 / 築 / エ / 房

有限会社 一級建築士事務所

西條 インテリアデザイン

本社／札幌市北区百合が原4丁目8-1  
tel.011-774-8599 fax.011-774-8581

伊達支店／伊達市舟岡町50-28  
tel.0142-22-0138 fax.0142-22-0139

ホームページ <http://www.saijo-d.com>